

待降節第一主日礼拝

【主日朝礼拝式次第】

【入祭の部】
前 奏（黙祷）
「愛するイエスよ、我らここに集いて」
BWV731 J.S.バッハ作曲
あいさつ
讃 美 讃美歌 21/231 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 123 篇

【第一部 み言葉の礼拝】
聖 書
✦マラキ書 3 章 19～24 節
✦ルカによる福音書 1 章 5～20 節
（旧約 P.1501、新約 P.99）
応 答 唱 讃美歌 21/38 番
教 話 井上隆晶牧師
『主の日を準備する者』
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】
奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】
讃 美 讃美歌 21/234 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「いざ来ませ異邦人の救い主」
BWV731 J.S.バッハ作曲

【本日の礼拝奉仕者】
司式補佐 勝見 仁
奏 楽 山添悦子
献金当番 未定
受付当番 小淵公子
【本日の予定】
◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：井上隆晶牧師
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇週報発送作業（礼拝後）
◇教会学校教師会（礼拝後）
【今週の教会での集会のご案内】
◇朝の祈り
・12 月 2 日（火）午前 9 時
・12 月 5 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・12 月 4 日（木）午後 7 時 30 分
【次週主日 12 月 7 日のご案内】
◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦ ルカ福音書 1 章 26～38 節
✦ ルカ福音書 1 章 46～55 節
・教 話 井上隆晶牧師
『マリアの賛歌』
・讃美歌 21 229、38、179
・交読詩篇 詩編 124 篇
・司式補佐 屋宮英男
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 ウィル・ピーヴィ
・受付当番 小坪英恵
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈祷会（礼拝後）
◇定例役員会（午後 1 時）

聖 句

「彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に正しい人の分別を持たせて、準備のできた民を主のために用意する。」

（ルカ 1 章 17 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：1 日（月）午前 9 時 30 分「大宮保育園お誕生日会」、3 日（水）午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」
②《12 月の教会行事予定》
■12 月 3 日（水）午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」参加費 500 円
■12 月 7 日（日）午後 1 時「定例役員会」
■12 月 14 日（日）午後 2 時「クリスマス子供会」
■12 月 21 日（日）午前 10 時 30 分「クリスマス礼拝」、礼拝後「愛餐会」食事は各自持ち寄りです。
■12 月 24 日（水）午後 6 時「クリスマス・イヴ礼拝」
③11 月 9 日（日）の週報の建築献金合計が 5,000 円と記載されていましたが間違いで、正しくは 28,500 円です。訂正をお願いします。
④「謝恩日献金」は 11 月末まで受け付けます。ご協力下さい。
⑤【祈祷課題】新しい教会堂を立てる為。ウクライナとガザに平和が実現する為。刑務所にいる友と家族の為。子供たちの成長の為。新しい信徒、求道者が与えられる為。
⑥【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
23	CS 礼拝	—	1	6	7	¥1,850
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
23	朝の礼拝	8	16	4	28	¥26,925
25	朝の祈り	1	4	—	5	
28	朝の祈り	1	3	—	4	

- ⑦【11/23 の献金報告】〔感謝〕阪口恵美子、寺田安広、中村恵子（計 15,550 円）〔互助〕屋宮英男（計 1,000 円）〔謝恩日〕小淵公子、小淵賀裕、澤田昌人、菱田朱美、三山幸子（計 5,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

「研究しても、イエス様を受け入れなかった。これはひどい民だ。でも、もしかしたら私たちも同じなのではないだろうか。イエス様の弟子たちもイエス様が死ぬまで誰が一番偉いかと議論していたのではないか。今のロシアはどうだろう。キリスト教徒が大勢いるのに戦争をし、神様の戒めを守らないではないか。私の出した結論はこうです。「人間はいくら聖書を学んでも神の戒めを守ることは出来ず、神に従うことはできない。無力なのだ!」ということです。私は一人の人を 25 回訪問して話をしても、その方がカルトから辞めなかった時に、自分の無力さを知りました。だから最後の日は、説得や学びをせず、雑談をして帰りました。するとその夜に神の霊が働いてその方は脱会したのです。人は人を変えることも、人を救う事も、この世を変えることもできません。それは人間だけでは不可能なのです。それを認める必要があります。人が変わらないので、神が変わったのではないのでしょうか。神が人となり、十字架で人の罪を負って死ぬしかなかったということなのです。神の独り子が死ななければ弟子たちも、聖霊を受けることが出来ず、聖霊が来なければ変わることができなかったのです。パウロも聖霊を受けて変わりました。人の力だけでは変われなくても、神の力が働くことによって人は変われるのです。今日は収穫感謝祭です。あなたは神様の天国の倉に入れられる良い実を結ぶ人になっていますか？神様の力がなければ、私たちは良い実を結べないのです。是非、神に祈り続け、信仰と行いの良い実を結ばせてもらいましょう。」

